ONKYO
IMAGINATIVE SIGHT & SOUND

2001.2

Scepter

For High End Audio Theater

Premium Digital
Onkyo Home Theater

Scepter

それは、半世紀に渡り、トップエンドモデルにのみ授けてきた称号。最新の技術と感性の全てを注ぎ込んだブランドとして、常に時代をリードしてきました。そして、ついに、そのScepterブランドが、ハイクォリティサウンドを進化させ、シアターの扉を開きます。比類なき王位が奏でる新境地をどうぞご堪能ください。

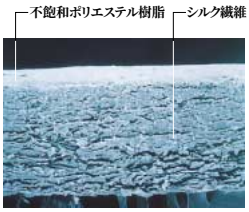
3ウェイ・ツインドライブ・スピーカーシステム
Scepter-F1

3ウェイ・ツインドライブ・センタースピーカーシステム
Scepter-C1

振動板の理想がここにある。
シルクOMFダイヤフラム・ウーファー&スコーカー

軽量・高剛性・高内部ロスという理想の振動板を求め続けてきたオンキョーが全く新しいテクノロジーで生み出したのが、シルクOMFダイヤフラム。(OMFとは、ONKYO Micro Fiberの略)。シルク繊維は本来、固有振動の極めて少ない素材です。シルクOMFダイヤフラムは、この100%ピュアな超極細シルク繊維の不織布と不飽和ポリエステル樹脂をマトリクス構造にして成形することにより、振動板の振動によって発生した固有のエネルギーを繊維間や層間の摩擦で素早く熱エネルギーに変換できる高内部ロスの振動板です。不飽和ポリエステルも内部ロスが大きく、剛性の高い素材を厳選しており、振動板トータルで軽量・高剛性・高内部ロスを実現しています。また、振動板を支えるエッジやダンパーには、固有雑音の少ない素材を厳選し、実用音量での振動エネルギーロスが最小となる形状を選択。さらに、振動板とエッジの接合部分にも、新開発Sライン・エッジを採用。接合部をなめらかにし、伝搬波の反射を大幅に低減させています。一切の雑音を排除し、超微小な音声情報までも正確に伝える。オンキョーの音質に対するこだわりが、この新テクノロジーの開発にたどり着かせたのです。

●シルク繊維



●シルクOMFダイヤフラムの断面

リニアリティに優れた高域再生を実現。
アルミマグネシウム合金ツィーター。

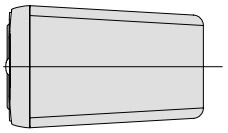
金属の中では極めて軽量で固有共振の少ないアルミマグネシウム合金を、高速振動が要求される振動板とボイスコイルボビンに採用。さらに両者を、接着剤を介さない一体構造にすることで、応答特性を飛躍的に高めました。振動板を保護する前面保護ネットには、音質の劣化を防ぐ非磁性体を使用するなど細部にわたって、音声情報を欠落させる諸要因を排除しています。

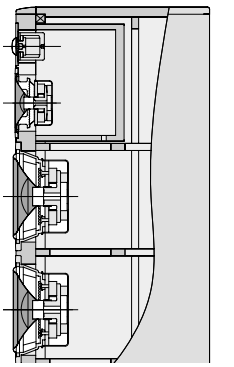
ユニットのクォリティを最大限に引き出す、
M.D.C.T.(磁気歪低減技術)採用の磁気回路。

歪みが少なくリニアリティに優れた設計がむずかしいとされてきた磁気回路には、磁束の対称性を高めるとともに交・直流磁界の干渉を防止する形状と構造を採用しました。このM.D.C.T.の採用により非直線歪みや磁気歪み、電流歪みを極限まで低減することが可能になったのです。

定在波の発生を抑え、
微小な情報を守るキャビネット構造。

キャビネット内の定在波の存在は、スピーカーの音質を損なう大きな要因の一つです。定在波の除去には通常、吸音材が使用されます。しかし、吸音材は定在波を吸収すると同時に、大切な音声信号のエネルギーまでも吸い取ってしまいます。そこで、Scepter-F1、C1では、キャビネットの形状を定在波が発生しにくい台形としたうえで、吸音材を使用せずに拡散材を用いてエネルギーを分散させるなど、定在波の発生そのものを防ぐ手法をとりました。キャビネット材には、適度な密度と響きの良さで音質面での評価が高いMDF(Medium Density Fiberboard)材を採用し、スピーカーユニットの振動の影響を最も受けるバッフルボードには42mm厚を確保しました。構造的にも水平補強板3枚による4分割構造(C1は垂直補強板2枚による3分割構造)を採用することにより、キャビネットの高剛性化と共振の分散・低減を図っています。また、スコーカー後部には他のユニットの背圧の影響をなくすバックチャンバーを設け、その容積も低域再生能力を向上させため、大容量5ℓの木製バックチャンバーを組み込み、ウーファーとのスムースなつながりを確保しています。さらに、外観は、落ち着いた雰囲気のチェリーウッド光沢塗装の突き板仕上げで、インテリア性も高めています。





厳選されたパーツを採用し純度を守る、
S.G.L型アイソレートワイヤリング・ネットワーク。

ネットワークは各ユニットが受け持つ音域ごとに基板を独立させ、分離レイアウトすることで電磁誘導による相互干渉をなくしました。また音声信号の基準となるグラウンドはS.G.L.(Steady Ground Level)型の1点集中回路を採用し、グラウンドライン内での電流の流れを防止。変動しないグラウンド電位で、リアリティの高い再生を実現しています。さらにネットワーク素子はドイツWIMA製フィルムコンデンサーなどの高品位パーツを、内部配線には振動の影響を受けにくい制振布巻きケーブルを採用して、音声信号の純度を確保しています。

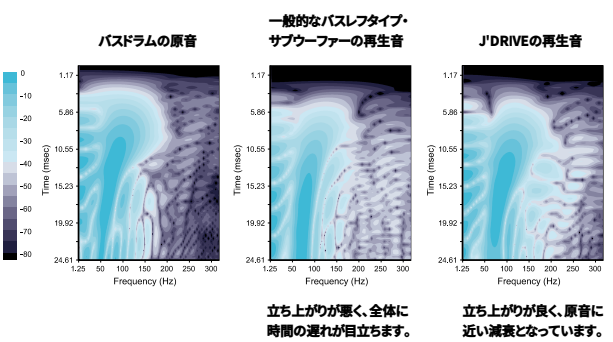
Scepter-SW1

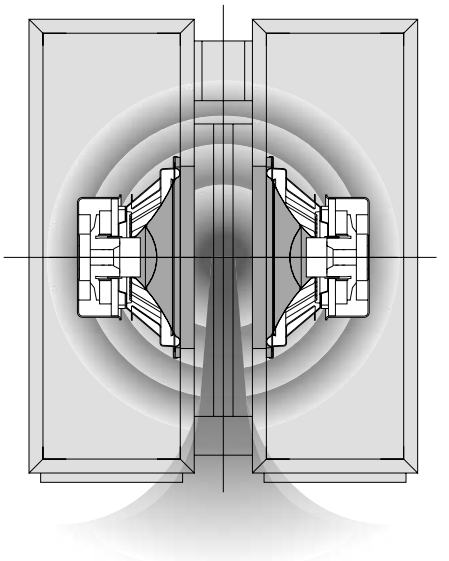
すばやく高精度に鳴り響く重低音。
新開発「Super J'DRIVE」方式。

決して妥協を許さない、
超低音域再生へのあくなき挑戦。

従来から多くのサブウーファーに採用されてきたバスレフ型やその変形方式は、共振を利用しているため、効率よく高い音圧が得られるというメリットがある反面、立ち上がりが遅く、その音色も固有のものになってしまいがちになるという問題がありました。その様子を表したのが下のウィグナー分布です。これは横軸に周波数をとり、縦軸が時間軸で、時間の経過（上から下に向かう）につれて、音圧の周波数分布がどのように変化していくかを表したものです。元の音であるバスドラムでは、アタック時の高い音圧は幅広い周波数にわたって分布し、次第に音圧の高い周波数が変化しながら減衰していくのがわかります。これに対してバスレフ型サブウーファーでは、アタックが遅れ、その音圧も緩やかに上昇し、周波数分布も幅狭く、そのあと共振による音が続いていくのがわかります。このような分布を示すバスレフ型サブウーファーから再生される音だけを聴いても、私たちの脳は元の音を正しくイメージできません。さらに、どんな音も、そのひとつひとつがメインスピーカーとサブウーファーから再生されます。私たちは両方から再生された音を合成して聴いていますが、仮にメインスピーカーの音が正しく再生されても、クォリティの低いサブウーファーの音が合成されると元の音とは違ったイメージが出来上がってしまいます。

過渡再生能力の比較（ウィグナー分布）





超低音域再生の新基準。
高精度&高レスポンス「Super J'DRIVE」方式。

この問題を解決したのがオンキョー独自のJ'DRIVEです。キャビネット内部に取り付けられたユニットの振動板は極めて内容積の小さい前室に接しています。振動板が音声信号に従って振動すると、前室の空気は振動板の動きに合わせて反応よく圧縮・膨張します。そして、この圧縮・膨張が短いダクトを通じて空気中に伝達されるコンプレッションタイプ、これがJ'DRIVE方式です。通常、J'DRIVEは1本のユニット使用でもトランジェントの良い迫力ある超低音を再生できますが、Scepter-SW1では、ユニットの反作用によってキャビネットが煽られるのを極力避けるため、2本のユニットを互いに向き合わせて反作用を相殺するデュアル・ドライブ方式を採用したSUPER J'DRIVEを新たに開発しました。J'DRIVE方式のウィグナー分布を見ると、アタックから減衰していく様子が元のバスドラムに極めて相似であることがおわかりいただけるでしょう。また、SUPER J'DRIVEはコンプレッションタイプ特有の音の浸透力の強さも兼ね備えています。高精度、高レスポンスを実現したSUPER J'DRIVE。それは、メインスピーカーの音を変質してしまいがちなサブウーファーの中にあって、一段と音像イメージのリアリティを引き出してくれる、超低音域再生の新基準なのです。

ユニットからパーツに至るまで徹底的にチューニング。
トップエンドモデルScepterならではの特別仕様。

ウーファーユニットには、素材固有の共振音が少ないOMFダイヤフラムを採用。これはScepter-SW1のために専用開発した6層構造の25cm口径タイプで、さらにエッジも通常の3倍の厚みをもたせたSライン・エッジとすることで伝搬波を吸収し反射を最小限に抑えました。また、適度な重量で振動を抑えるMDF製のキャビネットやM.D.C.T.採用の磁気回路など、音声信号の認識を妨げる諸要因を排除しています。

基本機能からカスタム設定まで全操作可能。
本格的シアターユースを追求したリモコン機能。

インターフェイスの高さもScepter-SW1の特長です。電源オン/スタンバイをはじめ、音量レベル、MUSIC/MOVIEモード切り換え、カットオフ周波数（30/40/50/60/70/80Hz）選択、NORMAL/REVERSE位相切り換え、ミュート、さらに、カスタムに設定した状態を3パターン記憶できるプリセット機能（カットオフ周波数/音量レベル/位相/モードの4項目）にいたるまで、全ての操作を付属のリモコンで行なうことができます。

Scepter-F1&C1

映画でも音楽でも、計測器でさえ検知できないような極めて微小な信号が耳に届くか否かで、その表情や雰囲気、生々しさ、実像感、音場イメージなどが左右されます。しかし、それは、スピーカー内で発生するノイズによってマスクされるのです。Scepterの開発では、ノイズと聴感の相関関係や発生のメカニズムを理論解析とヒアリングで徹底的に検証。オンキョーがもつ技術と感性を余すところなく注ぎ込み、無類の音場再生を実現したのです。

Scepter-SW1

一切の妥協を許さないScepterのコンセプトは、超低音域再生においても貫かれています。なぜなら、私たちはスピーカーから出てくる音を個別に聴くのではなく、あくまでもその集合体としての、合成された音を聴くからです。Scepter-SW1は、ハイエンドシアターでのパフォーマンスを最大限に引き出すことを命題に、人間の聴感を礎としながら、幾多の理論解析とヒアリング、検証を重ねて、ここに結実しました。

SUPER J'DRIVE方式アンプ内臓サブウーファーシステム
Scepter-SW1

Scepter

3ウェイ・ツインドライブ・スピーカーシステム

Scepter-F1

希望小売価格：¥300,000（1台・税別）

この商品は1台1梱包です（L/Rの区別はありません）。

JANコード：T4961330011349

◎コルク・インシュレーター×4付属
※スピーカーケーブルは付属しておりません。

ターミナルシャフトには直径6mmの穴を設け、極太スピーカーケーブルが直接接続可能

【Scepter-F1主要定格】 形式：3ウェイ・バスレフ型 定格インピーダンス：6Ω 最大入力：200W 定格感度レベル：85dB/W/m 定格周波数範囲：25Hz～60kHz クロスオーバー周波数：600Hz、3kHz キャビネット内容積：73 寸法：260W×1118H×444Dmm（サランネット、ターミナル突起部含む） 質量：40.5kg 防磁設計（EIAJ） ウーファー：20cmシルクOMFダイヤフラム×2／スコーカー：13cmシルクOMFダイヤフラム×1／ツィーター：2.5cmアルミマグネシウム合金ドーム×1 ターミナル：バナナプラグ対応金メッキ真鍮ターミナル
※この定格は日本電子機械工業会（EIAJ）の規格によるものです。

3ウェイ・ツインドライブ・センタースピーカーシステム

Scepter-C1

希望小売価格：¥250,000（1台・税別）

この商品は1台1梱包です。

JANコード：T4961330011356

◎コルク・インシュレーター×4付属
※スピーカーケーブルは付属しておりません。

ターミナルシャフトには直径6mmの穴を設け、極太スピーカーケーブルが直接接続可能

【Scepter-C1主要定格】 形式：3ウェイ・バスレフ型 定格インピーダンス：6Ω 最大入力：200W 定格感度レベル：85dB/W/m 定格周波数範囲：32Hz～60kHz クロスオーバー周波数：600Hz、3kHz キャビネット内容積：38 寸法：810W×274H×345Dmm（サランネット、ターミナル突起部含む） 質量：28.0kg 防磁設計（EIAJ） ウーファー：20cmシルクOMFダイヤフラム×2／スコーカー：13cmシルクOMFダイヤフラム×1／ツィーター：2.5cmアルミマグネシウム合金ドーム×1 ターミナル：バナナプラグ対応金メッキ真鍮ターミナル
※この定格は日本電子機械工業会（EIAJ）の規格によるものです。

SUPER J'DRIVE方式
アンプ内臓サブウーファーシステム

Scepter-SW1

3月13日発売予定

希望小売価格：¥200,000（1台・税別）

この商品は1台1梱包です。

JANコード：T4961330011363

◎リモコン/コルク・インシュレーター×4付属
※ケーブル類は付属しておりません。

【Scepter-SW1 主要定格】 形式：アンプ内蔵密閉型 入力インピーダンス：4.7kΩ（スピーカー入力）、12kΩ（ライン入力） 最大出力：130W（5ΩEIAJ） 再生周波数範囲：15～80Hz ハイカットフィルター：可変6段階（30,40,50,60,70,80Hz） Music/Movieモード切り換え NOMAL/REVERSE位相切り換え プログラム機能：3種類 消費電力：81W（電気用品取締法） 寸法：501W×597H×467Dmm 質量：44.8kg 防磁設計（EIAJ） ウーファー：25cmコーン×2 ターミナル：バナナプラグ対応ネジ式 RCAピン入力
※この定格は日本電子機械工業会（EIAJ）の規格によるものです。

ONKYO VALUE CUSTOMER

オンキョー製品情報、ユーザー登録ホームページ。 www.onkyo.co.jp

快適なオーディオをサポートするネットショップ。 www.e-onkyo.com

リビングシアター導入サポートサイト。 www.newliving-project.com

このカタログの記載内容は2001年2月現在のものです。

●定格・仕様は性能改善のため予告なく変更する場合があります。●このカタログに記載した製品の価格は希望小売価格です。●撮影・印刷の条件により、記載製品の色調が実物と異なることがあります。●「防磁設計」は㈳日本電子機械工業会（EIAJ）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。●「防磁設計」は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その際は、テレビから若干離して下さい。

オンキヨー株式会社 〒572-8540 大阪府寝屋川市日新町2-1

●カタログのご請求、製品についてのご相談はカスタマーセンターへ。※e-mail:customer@onkyo.co.jp※TEL:ナビダイヤル ☎0570（01）8111（全国どこからでも市内料金）、または、☎072（831）8111（携帯電話、PHSから）

●アフターサービスの申込は購入店または当社サービス網へ。サービスセンター ☎東京03（3861）8121・☎大阪06（6576）7620

●このカタログに掲載した製品には、期間1年の保証書を添付しています。

●このカタログに掲載した製品の性能部品最低保有期間は、一部を除き生産終了後8年間です。

お取扱店

注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。水、湿気、湯気、ほこり、油煙、等の多い場所に設置しないでください。感電、故障などの原因となることがあります。

＜Scepter SERIES＞01K 081 KNB printed in Japan 1060A